

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【令和 6 年度】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

社会福祉法人 京都市育和会
高齢者福祉施設 レット・イット・ビー
小規模多機能型居宅介護

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 2 日 (15 : 30～16 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー ユニット会議出席者 (不参加はスタッフ評価参照)

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	9 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画	書面の情報やユニット会議を通じて、事前に情報共有する。 本人・家族に寄り添う気持ちで思いを汲み取りながらアセスメントと信頼関係構築をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	定期的なユニット会議開催ができた。 職員が一丸となって情報収集をして、共有する意識が身についた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	8	0	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	0	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	9	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	9	1	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人や家族の思いを尊重し、不安を受け止めながら適切なサービスを組み合わせしていく。 本人が新しい環境や人間関係に溶け込めるように配慮し、柔軟に対応できている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ユニット会議欠席者の議事録の回覧が徹底できていない。 急を要する受け入れが多く、受け入れ前に十分な情報収集ができていないことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ユニット会議を欠席の議事録回覧による情報共有の徹底。 事前に知り得た情報をもとに本人や家族の困りごとや不安を受け止め、アセスメントと信頼関係構築をしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 2 日 (15 : 30～16 : 00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	ユニット会議出席者 (不参加はスタッフ評価参照)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	10 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	本人が思い描く在宅生活継続のための実現可能な目標に基づき、支援に当たる。 関わりの中で得た本人・家族の思いを聞き逃さず、職員全体で認識して支援に反映させる。
前回の改善計画に対する取組み結果	支援の中で本人や家族の発言や行動からくみ取れる希望を共有し、実現に向けて取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	2	9	2	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	3	8	2	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2	9	2	0	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	4	7	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
支援の中の何気ない会話から変化に気づき、職員間で共有しながら状況に応じたサービスを提供できている。 本人の「～したい」の思いを尊重し、可能な限り実現に向けた支援を提供している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
限られた時間や人員の中で本人が望むすべての「～したい」の実現は難しい。 本人の希望であっても実現するには危険と判断される、介護保険サービス外で支援ができないときに、理解を得るのが困難なことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人が思い描く在宅生活継続のための実現可能な目標に基づき、支援に当たる。 関わりの中で得た本人・家族の思いを聞き逃さず、職員全体で認識して支援に反映させる。	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	10 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	本人の残存能力を的確に捉えて、本人の能力を活かした支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人や環境の変化を職員間で共有し合い、現状に合わせた自立支援を行う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	1	6	6	0	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	5	8	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	7	5	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5	7	1	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	9	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
認知機能や身体状態の変化に合わせて本人らしい暮らしを損なわないように、必要な支援を提供できている。 家族からの希望や相談に耳を傾け、柔軟に対応できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人以外からの情報収集が困難な場合、生活歴を把握しきれていない。 本人の「できる」と現実に「できていること」の相違があるときに提供したいサービスが提供できない場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人の残存能力を的確に捉えて、本人の能力を活かした支援を行う。 日常生活支援を快く受け入れていただくために信頼関係を築く。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 2 日 (15 : 30～16 : 00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	ユニット会議出席者（不参加はスタッフ評価参照）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	10 人	2 人	0 人	13 人

前回の改善計画	本人を取り巻く環境や人間関係（家族・近隣住民・友人等）や、地域の資源（ボランティアや制度）知り、地域の一員として関りを持てるよう支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の資源を積極的に活用できている。 本人の交友関係につながりがある時は、円滑にコミュニケーションを取れるようにサポートをする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	7	4	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	9	2	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2	8	2	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	8	4	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域イベントへの参加をしている。 送迎業務や訪問支援時に、在宅時の生活の様子を観察している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 近隣住民や友人との関わりは、支援開始時にすでに関係が途絶えてしまっている場合が多い。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域イベントの参加等、地域や近隣住民と触れ合える機会を増やしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 2 日 (15 : 30～16 : 00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	ユニット会議出席者（不参加はスタッフ評価参照）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	11 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	事業所のサービスのみにとどまらず、地域の資源や他のサービスを組み合わせて多機能な支援を行う。本人の状態をよく観察して職員間で共有し、心身状態に応じた柔軟なサービスを提供する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の資源を積極的に活用できている。 朝礼やユニット会議での本人の変化の共有や共通認識の強化。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	5	7	1	0	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	7	0	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	6	3	1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	6	1	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ボランティアによる見守りやゴミ出しなどの生活支援サービスや配食サービスの活用。 本人の変化を共有して必要に応じてサービスの変更や、関係機関への連携取り対応できている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 状況に応じた対応はできているが、対応の経過や結果の報告や周知が漏れることがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 一つひとつの事案を解決まで見守り完結させる意識や責任感を身につける。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 2 日 (15 : 30～16 : 00)
6. 連携・協働	メンバー	ユニット会議出席者（不参加はスタッフ評価参照）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	9 人	3 人	0 人	13 人

前回の改善計画	他のサービス機関（医療機関・訪問看護・福祉用具等）や地域の団体（自治会・地域包括センター等）と連携を取り、支援を行う。 近隣住民との交流イベント開催や参加を通じて、地域と交流を持ち活動する。
前回の改善計画に対する取組み結果	他のサービス機関や地域の団体と、連携を取り支援に取り組んだ。 施設イベントの開催や地域イベントへの参加で、地域や関係機関と交流する機会を持てた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	6	4	0	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	6	5	1	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	6	5	1	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	4	8	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 他事業所や関係機関と連携を取り、本人に必要なサービスを組み合わせて支援を行っている。 事業所単体では解決困難な課題を、地域の団体と協力して解決できるよう支援している。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 自治体や地域包括センター等の集いの場への参加。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 自治体や地域包括センター等の集いの場へ参加し、地域との交流や他事業所・機関とのつながりを深める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 6 年 11 月 2 日 (15 : 30～16 : 00)
-----	-----------------------------------

7. 運営

メンバー	ユニット会議出席者（不参加はスタッフ評価参照）
------	-------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	10 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	日々の報告や定期的なミーティングで情報共有し、共通認識をもってサービスの質の向上を図る。 本人・家族・地域の声当真摯に受け止め、サービスの改善に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	前回実施時よりも細かな情報共有が行えるようになった。 本人・家族・地域の意見を反映し、サービスの質の向上に努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	8	2	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	8	0	1	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	9	2	1	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	1	6	4	2	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所としてあるべき姿や対応を職員が一丸となって行えるように、申し送りや定期的なユニット会議の開催、マニュアル作成や更新を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
家族や地域住民が事業所を訪れる機会を持っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
周囲の感染状況に応じて感染防止対策を講じながら、家族や地域の見学や行事のお招き等を企画していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 2 日 (15 : 30～16 : 00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	ユニット会議出席者 (不参加はスタッフ評価参照)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5 人	5 人	3 人	0 人	13 人

前回の改善計画	定期的な職場内研修の実施・参加や、職場外研修に参加する。 積極的にヒヤリハットを記録して、リスクマネジメント力を向上する。
前回の改善計画に対する取組み結果	定期的な研修の実施や参加ができている。 ヒヤリハットを記録し周知して事故の防止に努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	7	1	2	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	7	1	3	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	5	3	5	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	10	2	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること グループ内、法人内で開催される研修や、階層別研修に参加している。 ヒヤリハットや事故を記録して事故対策委員会で集計報告し、ユニット会議でフィードバックしている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 研修の後のフィードバックを回覧し周知しているが活かしかれていない。 地域連絡会の参加ができていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 研修参加者以外の全職員が研修内容を理解して、業務に取り入れて質の向上をしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 2 日 (15 : 30～16 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー ユニット会議出席者（不参加はスタッフ評価参照）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7 人	6 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画	正しい接遇を理解して、利用者を尊重した心のこもった対応を行う。 羞恥心やプライバシーに配慮し、尊厳を損なわない支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	羞恥心や尊厳の保持を意識した、丁寧な言葉遣いや接し方を意識できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	11	2	0	0	13
②	虐待は行われていない	11	2	0	0	13
③	プライバシーが守られている	8	5	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	8	0	1	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	5	1	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の意思を尊重しながら、同意のもと支援を行う。 羞恥心に配慮を要するケアでは、プライバシーの確保と事前の声掛けを徹底している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 時に、本人のパーソナルスペースを読み間違えて接していることがある。 楽しい時間を提供する中で、言葉が砕けすぎることがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 無意識に不適切な対応にならないように、接遇について正しく理解をして意識する。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 京都市育和会	代表者	久野 成人	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、通いのサービスを中心に、泊まりと訪問のサービスを組み合わせながら、運営していきます。
事業所名	レット・イット・ビー 小規模多機能居宅介護	管理者	佐野 美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	0 人	2 人	1 人	0 人	1 人	2 人	3 人	0 人	10 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	スタッフ間の情報共有を強化し 共通認識を高める。	定例ミーティングの定着、申送り ノートの活用の見直しを行い、繰 り返し見返すものは別様式のフ ァイル保存化を行った。	段階的に達成可能な計画を立て 実践できていると思う。	情報共有の徹底。申送りの抜けや 周知不足を改善する。
B. 事業所の しつらえ・環境	清潔感のある居心地の良い環境 づくり。	季節ごとに壁面飾りを利用者様 と制作して、明るい雰囲気事業 所を心掛けた。	様々なレクリエーションの企画 や工夫をしている。利用者が活 き活きしている様子がうかがえる。	環境整備（整理整頓、歩行器や車 いすなど、移動の導線を妨げない ような配置の工夫等）
C. 事業所と地域の かかわり	事業所を知っていただく機会や 情報配信をしていく。	地域イベントへの利用者との参 加や、会報誌の発行を行っている。	施設のイベントは少しずつ知ら れてきていると思う。	地域の行事への参加、事業所の情 報配信の充実。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	事業所全体が地域と関わりが持 てるように努める。	送迎や訪問で利用者宅へ伺う際 に近隣住民と会話を交わしたり、 本人から自宅での暮らしをヒア リングしたりしている。	施設でかかわる職員さんが自宅 に訪問してくれるのは安心でき ると思う。	事業所外で出会う近隣住民への 挨拶など、日々の中から地域と関 わりを持とうとする意識を高め る。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	会議での意見を参考に継続した 改善を行い、質の向上に努める。	事業所の課題の共有のほかに、地 域の状況やニーズを知るための 場として積極的に会話を交わす ように心がけた。	会議上での意見や助言を反映し て課題に取り組んでいると思う。	参加者に伝わりやすい事業所報 告を心掛け、意見や助言を参考 にしながら改善案を検討する。
F. 事業所の 防災・災害対策	事業継続計画に沿った対応を行 うための訓練や研修の継続とフ ィードバック。	新たに定められた法定研修を取 り入れて、これまでよりも深い学 びの機会を得た。	いつ大地震などが起きるか不安 だし、災害時に拠り所になる施設 であってほしいと思う。	研修や訓練の実施を継続しなが ら、災害時にマニュアルに沿って 冷静に対応できる力をつける。

